ゴルフで広げる平川市のにぎわい

～ ゴルフを軸に、観光・宿泊・地域経済の活性化を目指して ～

現状とデータ

- 市内ゴルフ場の延べ利用者数
  約4万4千人前後（過去5年で安定）
- ゴルフ利用税交付金：令和2年度 1,270万円
  （青森県内2位）
- 市内のゴルフ場：2か所
  （津軽高原ゴルフ場・びわの平ゴルフ倶楽部）
- コロナ禍でも利用者が減少しておらず、
  県内利用者が多いと推定。

ゴルフ場利用者数（実数）	
H28	約43,100人
H29	約44,200人
H30	約44,700人
R元	約44,100人
R２	約45,000人
R３	約48,400人


津軽高原ゴルフ場（イメージ）


びわの平ゴルフ倶楽部（イメージ）

目指す姿（目的）

① ゴルフ観光事業の推進

県内外・海外からのゴルフ客を呼び込み観光と地域経済を活性化。

② 市民へのゴルフ普及と健康増進

市民の健康づくりや生きがいづくりにつなげる。

利用者数の増加
→ ゴルフ利用税交付金のさらなる増加

課題と対応策

主な課題	対応策（提案）
① 県外・外国からの利用客が少ない（観光関連産業の拡大につながっていない）	① ゴルフツーリズムの強化
② 市内にゴルフ練習場が1か所のみ（100ヤード以上の打ちっぱなし、アプローチ・バンカー練習場がない）	② ゴルフ練習場の設置検討（100ヤード以上の打ちっぱなし、アプローチ・バンカー、ショートホールの整備）

具体的なゴルフツーリズムの取組イメージ

① 市内観光ゴルフ場のPR強化

- SNS、Web、旅行サイトでの発信
- 県外・海外向けのプロモーション



② ふるさと納税返礼品の拡充
ゴルフ宿泊パックの設定



③ インバウンド対応

- 多言語化（コースナビゲーション）
- Wi-Fi整備（R2・R3補助実績）



④ 市内観光プランの設定

- ゴルフ＋観光（温泉・グルメ・名所）
- 地域の観光施設と連携



⑤ 宿泊プランの充実

- 松・竹・梅の３段階価格プラン
- ゴルフ場・宿泊業者を連携

松（高級）	竹（スタンダード）	梅（お手頃）
ゆったり贅沢	バランス重視	リーズナブル



質疑応答の内容（抜粋）

議員の質問（要点）

- Q ゴルフツーリズムに向けた取組について、現在実施している施策はあるか。
- Q ゴルフ宿泊パックを2万円未満の価格で提供できないか。
- Q ゴルフ練習場の設置を検討していくべきではないか。
- Q ふるさと納税返礼品としてゴルフ宿泊パックを扱えないか。
- Q たけのこの里（ロッジ）をゆうえい館跡地に移設し、低価格の宿泊施設として活用できないか。
- Q ゴルフを活かしたまちづくりについて、市長の考えを伺う。

市当局の答弁（主な内容）

経済部長
- ゴルフ場の利用券配布のほか、インバウンド対策としてコースナビゲーションの多言語化（R2）やWi-Fi整備（H30・R3）に補助金を交付。
- 市スポーツ協会の補助で、市民ゴルフ大会やレッスン会を開催している。

経済部長
- 宿泊パックへの恒常的な補助は難しいが、県のおでかけキャンペーンや国のGoTo事業などの宿泊割引を活用し、低価格パックの造成を旅行代理店等と相談したい。

総務部長
- ふるさと納税の返礼品としての活用は、事業者からの提案があれば検討可能。

市長の見解（練習場設置について）

- 民間企業との競合のおそれや、平川河川敷へのショートホール設置は場所の確保が難しいため、現時点での設置は考えていない。

議員の反応・今後の期待

- ゴルフ宿泊パックの低価格化や、アフターコロナでの一発キャンペーンを期待。
- ゴルフ宿泊パックのふるさと納税返礼品化を要望。
- たけのこの里のロッジ活用や、まちづくりへの連携も改めて検討してほしい。
- ゴルフを軸にした地域のにぎわいづくりを強く求めた。

ゴルフの力で、もっと魅力ある平川市へ。 ～ 観光・宿泊・地域経済の好循環を目指して ～